Letter from the Editor-in-Chief

寄稿ノス、メ

Benefits of Contributing to the JMSSJ

吉野健一^{1,2}

Ken-ichi YOSHINO^{1,2}

¹ 神戸大学・自然科学系先端融合研究環・バイオシグナル研究センター *Biosignal Research Center,
Organization of Advanced Science and Technology, Kobe University, Kobe, JAPAN*

² 編集委員長 *Editor-in-chief*

本誌「質量分析 *Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan (JMSSJ)*」の刊行は、日本質量分析学会 the Mass Spectrometry Society of Japan (MSSJ) の定款第3条に定められた主たる事業の一つです。

学会誌の刊行に並ぶその他の主たる事業としては、質量分析総合討論会の開催が挙げられます。しかしながら、現行の規定では、MSSJの会員資格は、質量分析総合討論会において研究発表を行うためや、質量分析総合討論会に参加するための必要条件ではありません。共同演者にも会員資格を要求する学会があるなか、MSSJはとても懐の広い寛大な学会なのです。

MSSJの会員であることの特典として、正会員や学生会員は質量分析総合討論会の参加登録費の優遇を受けることができますが、会員資格があるからといって参加登録費が免除されるわけではありません。

MSSJの会員であることによって得ることのできる特典のなかで最も主要なことは、実はこのJMSSJが定期的にお手元に届き、読むことができることなのです。MSSJの会員資格を有する方であれば、特に追加料金を払う必要なく、いち早く本誌の読者となることができます。MSSJの会員資格をもっていない方は、冊子版よりも若干公開が遅いオンライン版だけが情報の入手手段となります。

非会員の誰よりも早くこのJMSSJを手にとって読むことができます。これがMSSJ会員であることの最大のメリットなのです。

JMSSJは、主としてMSSJ会員からの寄稿によって成り立っています。そして寄稿者は次のような恩恵を享受することができます。

1. 「学会賞」を受賞できます

受賞者選考細則に記された日本質量分析学会「学会賞」MSSJ Award for Distinguished Contribution in MS 受賞候補者の資格として、「受賞の対象となる原著論文を5編以上本学会誌に報告しているものとする」と記されています。JMSSJに原著論文が5編以上掲載されていることが「学会賞」受賞の必要条件です。

2. 「奨励賞」を受賞できます

受賞者選考細則に記された日本質量分析学会「奨励賞」MSSJ Research Award 受賞候補者の資格として、「受賞の対象となる原著論文を1編以上本学会誌に報告しているものとする」と記されています。JMSSJに原著論文が1編以上掲載されていることが「奨励賞」受賞の必要条件です。

若手の皆さん、今のうちに本誌に原著論文を投稿し、奨励賞受賞を目指してください。せっかく候補に上がってもJMSSJにあなたの原著論文が掲載されていなかった場合、誠に残念ながら、推薦されることはありません。

3. 「論文賞」を受賞できます

日本質量分析学会「論文賞」JMSSJ Award for Excellent Paper はJMSSJに掲載された「原著論文」、すなわち「一般論文」、「ノート」、「技術報告」の著者から選考され、授与されます。

来年度 2008 年度の論文賞は 2006 年発行の Vol. 54 に掲載された原著論文の著者から選考されます。本年 2007 年中に掲載された原著論文の著者は 2009 年度の論文賞受賞の候補者となります。

会員の皆様、論文賞受賞を目指して、JMSSJ に質の高い原著論文をお寄せください。

4. 「会誌賞」を受賞できます

日本質量分析学会「会誌賞 JMSSJ Award for Excellent Article」は、JMSSJ に掲載された総説論文、すなわち「総説」、「総合論文」、「解説」と「Letter to the Editor」の著者から選考され、授与されます。

来年度 2008 年度の会誌賞は 2006 年発行の Vol. 54 に掲載された総説論文と Letter to the Editor の著者から選考されます。本年 2007 年中に掲載された総説論文と Letter to the Editor の著者は 2009 年度の会誌賞受賞の候補者となります。

会員の皆様、会誌賞受賞を目指して、JMSSJ に質の高い総説論文（「総説」、「総合論文」、「解説」）および Letter to the Editor をお寄せください。

5. 英文ネイティブチェックサービスを無料で受けることができます

採択された論文の英文ネイティブチェック（英文校閲）の費用は編集委員会が負担いたします。（ただしこのサービスは編集委員会の財政状況の変化に伴い予告なしに打ち切られることがあります）

6. 別刷 25 部を無料で進呈いたします

従来、本誌に原著論文や総説論文が掲載された著者は別刷 50 部を購入する義務が課せられていました。しかしながら、2005 年 3 月末をもってこの制度は撤廃され、代わりに 25 部を無料で進呈しています。（このサービスは原著論文と総説論文が対象であり、原則として Letter to the Editor の著者へのサービスは行っていません。ただし、学術的に重要であり、原著論文や総説論文と同様に、公表後、著者が別刷を必要とする可能性が高いと編集長が判断した場合には Letter to the Editor の別刷 25 部無料進呈を行います）

7. 投稿料、掲載料は不要

日本質量分析学会編集委員会は、JMSSJ に採択が決定された原稿の掲載料（投稿料）等、編集、印刷、出版に必要な経費を著者に請求することはありません。ただし、カラー印刷等、本誌の通常の方法とは異なる印刷方法を著者が希望された場合はこの限りではありません。

8. 迅速な査読

一次審査の結果は、原則として受付日から 21 日以内にお知らせいたします。さまざまな理由で審査結果、特に採択通知が早期に必要とされる場合があります。科学的な錯誤がなく、掲載に値する論文の審査はできるだけ早く行い、一日も早く査読結果をお知らせすることを心がけたいと考えています。

改定前の投稿規程の下では、投稿や査読業務において、紙媒体の原稿のやりとりを行う必要がありました。2005 年 5 月の投稿規程改定以降は、電子メールを利用して電子ファイルを媒体とした原稿のやりとりが行われていますので、最速の場合、投稿日が採択日となることも可能です¹⁾。

9. 1,300 名の MSSJ 会員の目にとまります

現在、日本質量分析学会の会員数はおよそ 1,300 名です。この会誌は、偶数月の初め、すべての会員のお手元に定期的に届けられています。

10. 世界中の MS 関係者の目にとまります

JMSSJ に掲載された論文等は、本会のウェブサイト [URL: <<http://www.mssj.jp/index-jp.html>>] 上の「オンライン質量分析」において公開されています。

また、独立行政法人日本科学技術振興機構が運営している科学技術情報発信・流通総合システム the Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic (J-STAGE) [URL: <<http://info.jstage.jst.go.jp/info/>>] においても公開されています。

残念ながら、質量分析に携わっている人の中にはまだ MSSJ の会員になられていない方もおられます。さまざまな理由

略語、JMSSJ, Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan（日本質量分析学会誌）；J-STAGE, the Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic（科学技術情報発信・流通総合システム）；MS, mass spectrometry（質量分析）；MSSJ, the Mass Spectrometry Society of Japan（日本質量分析学会）；URL, uniform resource locator

The screenshot shows the J-STAGE website interface. At the top, there's a header with the J-STAGE logo and the text 'Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic'. Below this, there's a navigation bar with links like 'About J-STAGE', 'J-STAGE Top', and 'Journal@rchive'. A search bar is prominently displayed with the keyword 'unified atomic mass' entered. To the right of the search bar, there are links for 'HELP', 'Register', and 'ForgotPassword'. Below the search bar, the results are listed as 'Results 1 - 20 of 21'. The first five results are visible, each with an 'Abstract' and 'PDF' link. The results are:

- Comments on Usage of the Unit Symbol "amu"** by Ken-ichi YOSHINO, Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan, Vol. 54 (2006) No. 6 pp.259-271.
- The Unit Symbol "Th"** by Yasuhide NAITO and Ken-ichi YOSHINO, Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan, Vol. 54 (2006) No. 5 pp.218-218.
- The Difference between Unit Symbols "u", "Da", "amu", and "mmu"** by Ken-ichi YOSHINO, Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan, Vol. 54 (2006) No. 6 pp.256-257.
- Definition of the Symbol " m/z " and How to Use it** by Yasuhide NAITO, Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan, Vol. 54 (2006) No. 5 pp.217-217.
- Comments on Usage of the Symbol " m/z "** by Ken-ichi YOSHINO, Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan, Vol. 54 (2006) No. 4 pp.175-182.

 At the bottom of the results list, there are navigation links for 'Previous' and 'Next', and a 'Pages 1/2' indicator with a 'GO' button.

Fig. 1. J-STAGE 検索サイト, 検索結果の一例. 「unified atomic mass unit」をキーワードとして検索を行った.
 英語版検索サイトの URL: <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/>
 日本語版検索サイトの URL: <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

で, MSSJ の入会手続きがお済みではなく, JMSSJ を手にとって読むことができない方にも, オンライン質量分析や J-STAGE 上で JMSSJ に掲載された論文等を読んでいただくことは可能です.

また, JMSSJ の存在をご存じでない方でも, J-STAGE の検索サイトからキーワード検索等で JMSSJ に掲載された論文等にアクセスすることが可能です (Fig. 1). J-STAGE 上で公開されている論文は, ChemPort 等を経由し, 海外のさまざまな電子ジャーナルサイト上の論文と相互リンクされています.

JMSSJ は全世界に開かれているジャーナルです.

11. 総説論文や Letter to the Editor の活用

原著論文とは, 新規に得られた科学的な知見をまとめ, その知見に基づき筋道を立てて意見を表明し, 議論を行う学術的な著作物です.

しかしながら, 学術的な著作物は原著論文だけではありません. 総説, 総合論文, 解説, すべて学術的な著作物であり論文です. 学術論文として重要なことは, 科学的な知見と体系に基づき, 新規性の高い研究者自身のアイデアを表明し, 学術的な議論を行うことです. 学術論文に必要なことは, 必ずしも新規に得られた実験結果ではなく, 研究者自身が実験結果から導き出した新規性の高いアイデアです. 実験科学の原著論文において新規な実験結果を得ることは, 必要条件ですが, 十分条件ではありません.

学術的に新規な知見, アイディアを表明し議論する場合は何も原著論文に限ったことではありません. 総説, 総合論文, 解説を媒体として行うことも可能ですし, アイディアの内容によっては, 原著論文よりもこれらの著作物のほうが適切な場合もあります.

研究者として, 科学者として, 世に問いたいこと, 表明したいアイデア, ご意見, ご提案, 皆様の頭の中から数多く湧き出ていると思います. ぜひそのような学術的な提言を, 皆様の胸のうちにとどめておくことなく, JMSSJ の総説, 総合論文, 解説を活用し, 表明し, 世界に向けてどんどんアピールしてください. 国外のジャーナルではさまざまな理由で受け入れてもらえないおそれもあります. しかしながら, JMSSJ は, 懐の広い MSSJ の学会誌ですから, とても懐の広いジャーナルです. 記述内容に科学的な錯誤がない限り, 掲載には何の障害もありません. きっと皆様の斬新なアイデア, ご意見をアピールする場, 皆様のユニークなひらめきを公表する場として有用であると確信しています.

総説や総合論文の執筆は少々ハードルが高いかもしれませんが、しかし、JMSSJにはLetter to the Editorというカテゴリがあります。このカテゴリは自由度の高い枠で、採否の決定は編集長が行っています。第三者の審査・査読を受けることなく時の編集長の査読によって採否が決定されます。科学的な錯誤がない限り、いろいろな形の著作物を受け入れることが可能です。たいへんハードルの低いカテゴリですので、このLetter to the Editorを有効に活用し、皆様の学術的なご意見、ご提案、ユニークなアイデアを全世界にアピールする場として、ぜひJMSSJをご活用ください。

ペプチド主鎖の結合が開裂することによって生成したフラグメントイオンは、a-ion, b-ion, c-ion, x-ion, y-ion, z-ionと呼ばれています。現在、世界中で利用されているこの命名法を提案した最初の文献は、1984年P. Roepstorff & J. Fohlmanが*Biomedical Mass Spectrometry*誌に発表したLetter to the Editor²⁾です。歴代のMS関連の文献の中で、このLetter to the Editorの引用回数が上位を占めていることは想像に難くありません。

皆様、ぜひとも、ペプチド由来のフラグメントイオンの命名法を提案した、このP. Roepstorff & J. FohlmanのLetter to the Editorを超えるような歴史を創るユニークなLetter to the Editorや原著論文、総説、総合論文、解説をJMSSJにお寄せください。

文 献

- 1) 吉野健一, *J. Mass Spectrom. Soc. Jpn.*, **53**, 239 (2005).
- 2) P. Roepstorff and J. Fohlman, *Biomed. Mass Spectrom.*, **11**, 601 (1984).

【お断り】 本稿に記されている日本質量分析学会の各種規定や、日本質量分析学会誌「*Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan*」に寄稿することによって得ることができるサービスは、執筆時（2007年6月1日）において有効な事項です。これらの規定やサービスは予告なく変更されることがあります。